

# 令和元年度 第2回 とみやわくわく市民会議 実施報告書



富谷市総務部市民協働課

テ　　マ	国際交流について ～とみやらしい国際交流とは～
日　　時	令和元年9月28日（土）午後1時30分～午後3時30分
場　　所	富谷市まちづくり産業交流プラザ（TOMI+）
座　　長	宮城大学 事業構想学群 准教授 佐々木 秀之
参 加 者	一般参加 10名 宮城大学学生 1名 富谷市 9名（市長、副市長、企画政策課3名、市民協働課3名、インターンシップ1名） 傍聴者 3名

### 実施状況

時間	内容	状況写真
13:30～ 14:00	初インテ-ション ①自己紹介 ②施設見学	 
14:00～ 15:30	会議 ①市長あいさつ ②情報提供 （企画政策課） ③DVD 上映 ④意見交換 （グループワーク） ⑤市長感想 副市長感想	     

## 情報提供（企画政策課） ～別紙「令和元年度第2回とみやわくわく市民会議資料」に基づき説明～

はじめに、外国人の方がどのくらい富谷にいるか、5年間の人数の推移を表にまとめておりますのでご覧ください。平成27年が合計で143名、そして令和元年が210名という数値になっております。全人口に占める割合としましては、平成27年で0.27%、令和元年で0.4%ということで、増加傾向にはあるのですが、宮城県全体の割合0.95%に比べると、やはり全体的にも低い割合という傾向になっているところでございます。

続きまして、今現在、富谷市での国際交流に関する取組として、主なものをご紹介させていただきます。

まずは、富谷塾の塾生による多文化共生イベントの開催ということで、塾生の方が中心となりまして、市民視点での国際交流に関する様々なイベントなどを開催していただいているところでございます。

また、とみや国際スイーツ博覧会の開催ということで、今年で4回目の開催になります。10月開催になりますけれども、その国際スイーツ博覧会の中でも留学生団体と連携したイベントですとか、各国の文化の発信など、そういったところで多文化交流にも寄与しているイベントになっていると考えております。

また、全市立幼稚園、小中学校のユネスコスクールの登録というところで、これまで日吉台小学校が先に登録を受けていたのですが、昨年、残りの幼稚園2園、小学校7校、そして中学校5校、合計で2園12校が全てユネスコスクールに登録されたということになりました。そういったところもありまして、世界的なネットワークを生かしたESD活動の発展というところにも、今後期待がされているところでございます。

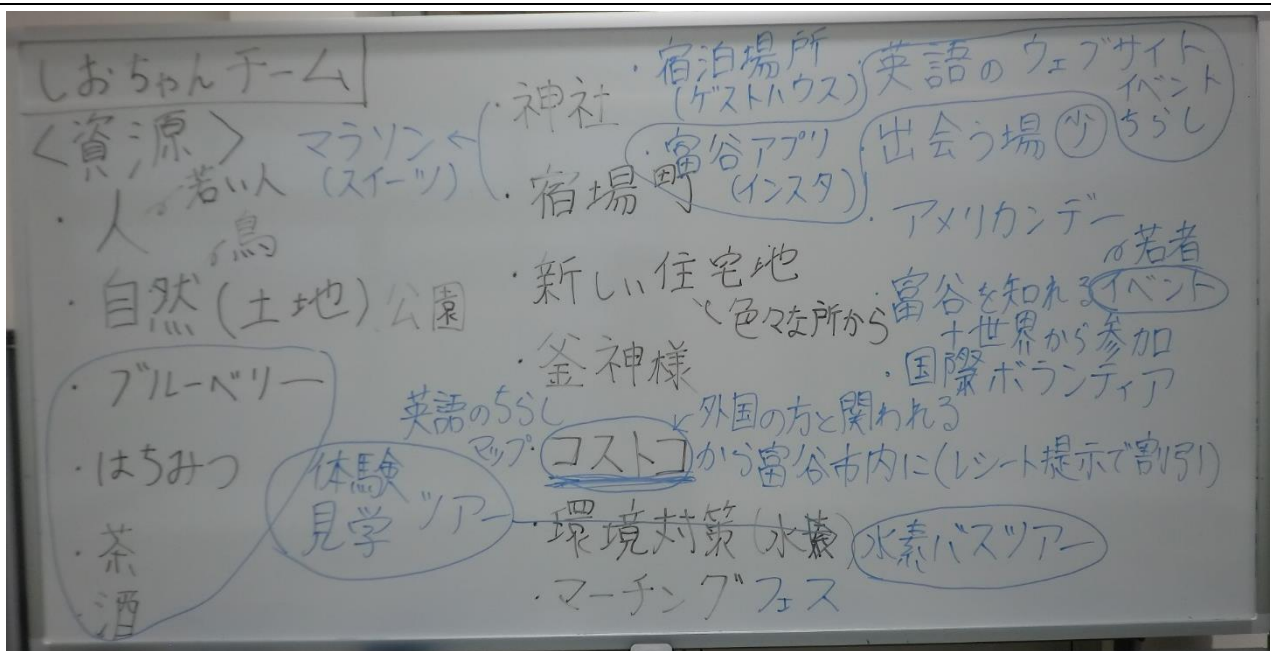
また、中学生海外派遣研修事業の実施ということで、今年で3回目の実施になりました。これまでは富谷から台湾に訪問をさせていただいていたのですが、今年は台湾から富谷にも来ていただくというようなところで、相互の交流にも発展した取組になっていると考えております。

また、ALT（外国語指導助手）のほか、全小学校への英語等の支援員の配置がされております。特に現在は、保育所、幼稚園にも派遣されておりまして、幼児期からの異文化交流にも貢献していただいていると考えております。

最後に、公民館での各種講座といたしまして、他国での文化風習への知識を広げるための教養講座などの開催をさせていただいているところでございます。

## DVD 上映（座長） ～ポートランドと宮城大学が連携した活動のニュース～

- ・昨年東北に宿泊した外国人旅行者は144万人。（前年比1.3倍、地域別で全国トップの伸び率）県内でも、38万3千人と過去最高を記録。
  - ・県は、沿岸被災地にも旅行者を呼び込むなどして、インバウンドの拡大につなげていきたい考え。
  - ・ポートランドの学生らが仙台市の沿岸部を視察に訪れ、防災とまちづくりを学んだ。
  - ・ポートランドは環境に配慮したコンパクトシティを推進。
- 全米で住みたいまちナンバーワンに選ばれるなど、仙台市が目指す環境先進都市のモデル。



## A チーム

### ☆ イベントによる人集めとコストコからはじまる国際交流

<アイデア等>

- ・ コストコのレシート提示でどこかのお店で割引されるようなシステムを作る。
- ・ 外国語版のチラシや富谷アプリを作り、様々なところに行けるようなシステムを作る。
- ・ 市ホームページを様々な外国語で見られるようにする。
- ・ スイーツに関連づけて国際マラソンなどを開催する。
- ・ マーチングフェスを開催し、人集めをする。
- ・ ブルーベリー、はちみつ、お茶、お酒などを体験できるツアーを行う。
- ・ 水素バスでとみやのまちを知るというツアーを企画する。
- ・ 仙台から富谷に来るシャトルバスの来づらいイメージを解消する。

**\*\* Aチームの発表 \*\***

富谷にはたくさん資源がありますが、それをどうやって生かしていくかということですが、先ほどの数字にもあったように、4%しか外国人の方がいらっしゃらないということで、実際まちを歩いても見かけることがほぼないです。一番見かけるところはどこかということ、やはりコストコということになりました。なので、コストコに行って帰るだけではなくて、コストコから富谷市内にどんどん外国の方に出ただけのように、レシート提示でどこかのお店で割引できるようなシステムがあれば、もっとみんながどこかに寄って帰ってくれるのではないかと思います。もちろん三沢市でもそうですが、色んな店舗に英語版のチラシとか、アプリを読み込むコードがたくさんあります。それを見て、みなさんが観光地でもお店でも、色んなところにいけるようなシステムができていますので、コストコさんに可能であれば、英語版のチラシとか、富谷アプリというのを作って、そこからどんどん読み込んで、英語だけでなく、中国語、韓国語など色々見られるようにし、どんどん派生していけるようにコストコから外国人の方がどんどん楽しめるようなまちづくりにしていったらどうかと思いました。市のホームページなども日本語しかないの、外国の色んな言語を見られるようにすると、そこからもどんどん富谷のことをたくさん知っていただけるのではないかと思います。

今後、スイーツに絡めて国際マラソンみたいなものを開催したり、せっかくマーチングもあるので、可能であれば、マーチングフェスみたいなものもやっていったら、人集めができるのではないかと、現在あるものだと、ブルーベリーやはちみつ、お茶、お酒、これらを体験できるツアーもあればいいと思います。

ブンブンアースデイとみやに私も行かせていただいたのですが、水素バスを見ました。ですので、近未来的に水素バスでとみやのまちを知るというツアーを企画していったらいいのではないのでしょうか。あと、仙台から富谷に来るシャトルバスとか、少し来づらいというイメージがあると思うので、そういうことも何かやっていたらいいのではないかとということでまとめました。



# チーム水月

○安全 (地盤のりして) ○

富田市の頑張り

みた信  
とう

## ＜資源＞

- 若い人(子ども)が多い
- 歴史的な巧み ex)川手
- ブルーベリー、富田茶、はろめ
- こまわりのさく
- ユネスコ
- 寺多い
- 目玉になるイベント

## ○自然(多)

- 若い人が活やくできる
- 年齢層のバランス○
- 市民活動○
- アコさんの活やく

→空間の活用  
開発の可能性(有)

- 新しいものの取り入れ
- インフラは整ってる → どう活かすか?

- SNS、HP がぎちんとしてる → 信用○
- 市長、行政のネットワーク○
- 協働 市役所はつながりの場  
ここあるべき

○ 中小企業、農業の頑張り

○ やりがい **チャンス**

○ エネスコの取り組みに  
川手プロジェクトを取り入れた

→ 地域文化を自分たちが知り

文化を伝えるための英語 (作業しながら学べる  
生きた英語)

→ 体験 モノづくり  
文化 着物、食

・ 民間委託を進める

→ 国際系のイベントにつなげる  
やりがい人が運営

・ 外国の子ども達とあそべる場所を増やす

・ 年間計画にイベントを組み込む  
例) 料理教室を作りながら話しながら  
「楽しかった! 残作したい!」

○ 面白い場に参加するハードルを低くしよう

→ コーディネート、予算

つながりを  
もっと強く!

今あるモノにプラス

## B チーム

### ☆ 幅広いネットワークと資源を活かした国際交流

#### ＜アイデア等＞

- ・ 民間委託を進め、様々な国際系のイベントにつなげる。
- ・ 人材を集約できるようなデータを集めるものや、幅広いネットワークが市役所にあると良い。
- ・ 子どもや子育てを頑張っている若者が、外国の子どもたちと遊べる場所や時間があると良い。
- ・ 地域の高齢者も参加し、縦のつながりや横のつながりを作る活動があると良い。
- ・ 週代わりで外国料理教室などを開催する。
- ・ 着物の着付け体験や街道まつりのときに甲冑をかぶる体験ができるようにする。
- ・ 今あるものにプラスして国際交流を進める。
- ・ 市でコーディネートと若干の予算付けをして欲しい。

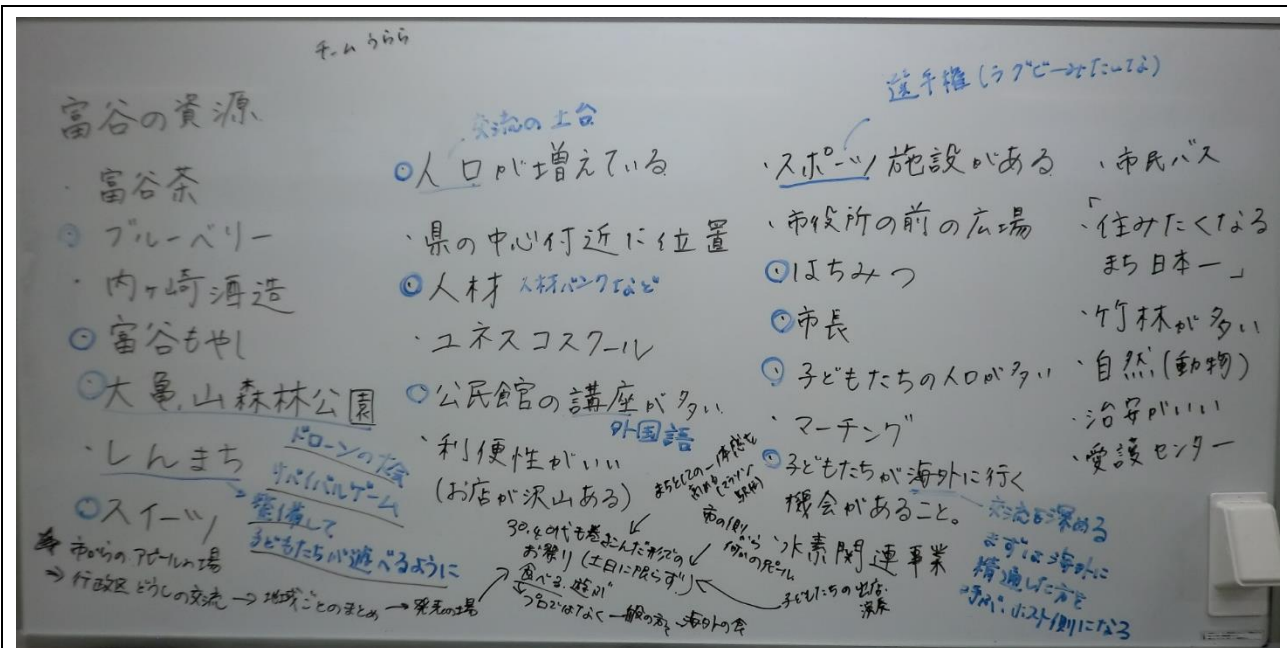
**\*\* Bチームの発表 \*\***

まず、マンパワーはどうやらあるらしいということが分かりましたので、もっと民間委託を進めていただいて、色んな国際系のイベントにつなげ、やりたい人たちはここにいる方ばかりではなくて、富谷市全体につながっていると思いますので、その人たちを集約できるようなデータを集めるものが市役所にあるといいなと思います。公民館ですと色々あるのですが、そうすると公民館の地域でしか活用されなくて、その横のつながりが全くないように思いましたので、市役所があればいいなと思います。例えば、それが仙台市ですと、仙台市観光国際協会や宮城県国際化協会とつながれるようなネットワークが市役所にあると、私たち市民が活躍しやすいと思っております。

あと、具体的な活動内容ということで、例えば富谷市は子どもや、子育てを頑張っている若い方たちが大勢いるので、外国の子どもたちと遊べる場所や遊べる時間というものがあったり、地域のおじいちゃん、おばあちゃんたちが一緒に来て、縦のつながりができたり横のつながりができたりと、そういう活動ができたらいいと思います。

それから、いつかできるはいつまでもできないということなので、年間計画を組んで活動していったら、いつかはできるのではないかと思います。例えば、食べるということは非常にハードルが低いので、色んな国の料理教室ということで簡単なお料理を一緒に作って食べるとか、今週はベトナム週間、来週は韓国週間、その次は中国週間やインド週間など、少し長いスパンで企画しても良いと思います。食べるという低いハードルで、楽しく参加できる場所があればいいなと思っておりました。外国の方たちの今の様子を見てみると、色んなものを楽しむというよりは、色んなことを楽しむということに変わっているように思いましたので、着物の着付け体験や街道まつりのときに甲冑をかぶってみたり、これから何か新しいことをやるのではなく、スイーツフェスティバルのこのブースは留学生が来ているから交流し、街道まつりのこのブースに外国人が来ているから遊びに来てねという形で、今あるものにプラスして何かできたらいいなという話が出ました。一番は、民間だと横のつながりが全く弱いのと、結局ボランティア活動なので自分たちでできる範囲のことしかできないので、少し市にはコーディネートと若干のその予算付けみたいなのをしていただけたら嬉しいなと思いました。





## C チーム

### ☆祭りに取り入れる国際交流

#### ＜アイデア等＞

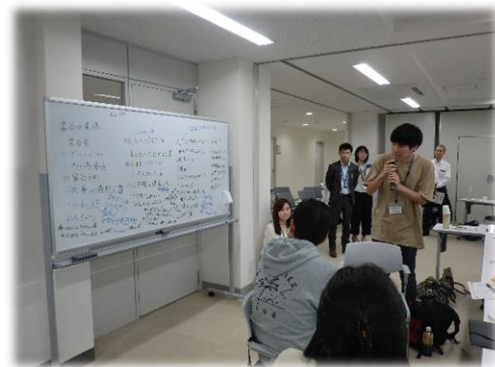
- それぞれの地区で開催している祭りが、その地域でとどまっいて、地域ごとのつながりがない。
- 地域ごとでやる祭りは継続したうえで、富谷市で祭りを開催する。
- 祭りを土日に限らず、平日もやるようにする。
- 30～40代も巻き込んだ大きな祭りを開催する。
- スイーツ博覧会とお祭りを一緒にする。  
→海外のスイーツも販売し、スイーツだけでなく物産店や食べ物も充実させ、交流する。
- 祭りの中でサバイバルゲーム大会などを開催する。
- 中学校、高校の吹奏楽部やマーチングエコーズなどを呼び、祭りの中に音楽を取り込む。
- 祭りに行くだけで外国人も楽しめて、国際交流ができるような祭りがあると良い。



**\*\* Cチームの発表 \*\***

今の課題として、それぞれの地区でお祭りをやっていると思うのですが、その地域でとどまってしまう、地域ごとのつながりがあまりないのではないかという意見が出ました。そんな中、地域ごとでやるお祭りはもちろん継続したうえで、富谷市でお祭りができたらという案が出たので、そこに焦点を当てて考えてみました。

そういうお祭りを土日に限らず平日もやるようにして、一番お金を落としてくれる30～40代になかなかスポットを当てられることがなく高齢者か子どもたちとなってしまっているのが、30～40代も巻き込んだ大きなお祭りができたらという意見がでました。富谷は色々食べるものも施設もあり、食の部分で言うと、スイーツ博覧会とお祭りを一緒にして、小・中学生や高校生が販売したり、海外のスイーツや富谷のブルーベリー、もやしなども販売したり、スイーツだけでなく物産店も食べ物も充実させて、おそらく人口が増えているということもあり、人の交流もできると思います。また、遊ぶという面で今回の参加者の方がブラジルの小学生と関わったときに、子どもたちはサバイバルゲームがすごく好きだと言っていたそうなので、例えば大亀山森林公園など、そういうお祭りの中で、サバイバルゲーム大会とかできたらいいなとか、食べる・遊ぶということで、中学校、高校の吹奏楽部やマーチングエコーズなど、音で楽しんでもらうという面で、お祭りの中に音楽も取り込んで、そのお祭りに行くだけで色々楽しんで、なおかつ海外の方も楽しめるよう、交流できるようなお祭りがあればいいのではないかということにまとめました。



## 市長感想

みなさま、お疲れ様でございました。限られた時間の中で、ボードに書ききれないくらいみなさまからアイデアをいただいて、そして具体的なところまで詰めてご提案をいただきまして、本当にありがとうございました。ぜひ、今日いただいたご意見を形にしていきたいと思っています。私自身、国際交流は、出会いがあり、学びがあり、とても楽しい経験をしているので、こういう体験をぜひこれからも富谷市民の皆さんにさせていただいて、そして逆に外国の方々に国境を越えて富谷に来ていただいて、みんなに足を運んでもらえるような、そんな市を作っていければと思っています。

私は、スローフードで震災まで4年間世界中を回っていたのですが、宮城が被災して、こんな状況で世界を回っているときではないと思い、被災地の復興ということで、気仙沼に屋台村を作りました。そうした時に、その屋台村に世界中から仲間たちが支援の物資を送ってくれたり、実際に足を運んでくれたりと、苦しいときにこうやって支えてくれるのも、国際交流の出会いがあったからだなとすごく感じました。

今後も、引き続き頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。本日は誠にありがとうございました。

## 副市長感想

みなさま、大変お疲れ様でした。みなさまから色々なご意見が出て、やれそうだなというものもたくさんありました。全部できるかどうかは色々難しいところもありますが、いくつかはチャレンジして、実現できたらと本当に考えています。

富谷は、外国人がまだまだ少ないという現状がありますけれども、冒頭のDVDの中でもありましたが、実は宮城県には外国人の旅行者がとても多く来ています。ニュースでありましたけれども、平成30年は前年から40%増えて、伸び率で言うと宮城県は全国で第2位です。今年の1月から6月の上半期で、これも40%以上伸びて、これはもう全国で第1位です。間違いなく多くの外国の方が来ているという現状ではあります。なので、まだまだ富谷ではそんなに外国人を見ないということですけれども、先ほどあった色々な料理教室など、料理を食べながら行うというのは、非常に良いアイデアだと思います。

外国人とたくさんふれ合うことで、非常に良い体験ができると考えていますし、本当に色々なアイデアが出ました。ここにいる企画部の面々がしっかり捉えて、私も混ぜて実現できたらと思いますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。



富谷市公式キャラクター  
フルベリッ娘とフルビヨ